



5/14・15 とれたてイチゴおいしいな！ 白水保育所イチゴ狩り

白水保育所全園児（134人）が、2日間かけ南阿蘇ふれあい農園でイチゴ狩りを体験しました。

このイチゴ狩り体験は、「実際にイチゴの実がなっているところを子どもたちに見せて、いい経験をさせてあげたい」という思いから同農場の田尻徹さん（一関一）が毎年白水保育所の園児を招待しているもの。

ハウスの中には、ひのしずくや、とよのか、べにほっぺなど数種類のイチゴのほか、かおりのという新種のイチゴもあり、赤くて大きなものを探しておいしそうに頬



赤いイチゴを見つけておいしそうに食べる園児たち

ばっていました。

イチゴをたくさん食べた園児たちは、「甘くておいしかった」「イチゴでおなかいっぱいになった」と話してくれました。

当日は、あいにくの雨でしたが、イチゴ狩り終了後、ヤギの餌やりも体験。一人1本ずつ人参を手を持った園児たちは、一斉に「おいで」と呼び、ヤギが寄ってくると、大喜びの表情を見せていました。



ヤギの餌やりで人参を食べさせる園児たち

5/24 クイズに挑戦しながらゴールをめざして 南阿蘇さわやかウォーク in あそ望の郷くぎの

「南阿蘇さわやかウォーク in あそ望の郷くぎの」が、5月24日、開催されました。

今年は、スタート・ゴールを「あそ望の郷くぎの」に変更。新たに「池の窪園地」を折り返す20キロコースも新設され、県内外から約1,800人が参加。

20キロコースに参加した女性は「眺めがきれいですね」と話してくれました。

ゴールの後は、ステージイベントが行われ、「阿蘇五岳太鼓」の太鼓演奏や「祇園岩戸神楽」の披露のほか、10万円の商品券、村の特産品などが当たるお楽しみ抽選会で会場は盛り上がっていました。



折り返しの頂上を目指し歩く20キロコースの参加者たち

5/17 108人の力を合わせて 村内中学校で体育大会開催

村内中学校（白水・久木野・長陽）と久木野小学校の体育大会が5月17日、開催されました。

白水中学校（塩山明校長）では、晴天に恵まれ、多くの保護者が見守る中、108人の生徒が日頃の練習の成果を発揮しました。

3年生の生徒32人とその保護者による綱引きや、全員でバトンをつなぐリレーカーニバル、全男子による組体操「白水健児2014」では、7段ピラミッドなど力強い姿が見られました。

今年のスローガンである「ONE FOR ALL、ALL FOR ONE」のとおり、全校生徒一丸となって白熱した競技や演技が繰り広げられました。



親子対抗綱引きで保護者に負けまいと必死に綱を引く3年生の生徒

5/24~6/1 **個人庭を開放**
第3回南阿蘇・庭・めぐり

5月24日から6月1日にかけて、個人の庭を開放する「南阿蘇・庭・めぐり」が南阿蘇村と高森町の7カ所で開催され、延べ2,800人が訪れました。

本村では、キャッツミントや、ペロニカ、オルレヤなど季節の花で可愛らしくガーデニングされた庭や、雑木林とたくさんのお花が溢れ心を癒やしてくれる庭が披露されました。

「ナチュラルガーデン南阿蘇」では24日、オープニングイベントとして、ガーデンコンサートも開催。多くの来場者が訪れ、アンコールも飛び出していました。



小道とアーチが出迎えてくれる「癒しのガーデン subrosa」



藤沼哲朗さんの歌に聞き入る来場者たち「ナチュラルガーデン南阿蘇」



キャッツミントが咲き誇る「あそ望の郷くぎのお花のガーデン」



くまモンとかなばあちゃんが訪れた「ガーデンサロン南阿蘇」

5/28 **おいしいお米になりますように**
両併小学校で田植え

両併小学校（後藤利恵子校長）の全校生徒35人が田植えを体験しました。

植えられたのは、地元の棚田組合（田上寛徳組合長）協力のもと、2アールの水田に収穫量約80キロのもち米の苗。

一列に並んだ児童たちは、田上組合長から植え方の説明を受けた後、先生の掛け声に合わせてながら田植えを開始。この春入学したばかりの1年生9人も上手に田植えをしました。

12月には、収穫したもち米で餅つきが行われる予定です。



田植えに参加した皆さんで記念撮影

5/25 **絶好の登山日和に恵まれ山開き**
第8回烏帽子岳山開き登山

今年で第8回を迎えた烏帽子岳山開き登山（主催 村観光協会）が5月25日開催され、県内外の登山愛好家約600人が阿蘇五岳の一つ烏帽子岳（1,337[㍎]）の頂上を目指しました。

参加者たちは、午前9時30分に池の窪駐車場から片道6キロ、高低差約550[㍎]の満開のミヤマキリシマが咲く道のりを歩きました。

今年は、昨年より参加者が大幅に増加。天候にも恵まれ、参加者たちは「今日はいい登山日和になりました」と喜びの声を上げていました。



険しい登山道も軽い足取りで登る参加者たち



5/30 子どもたちの交通安全のために 九州スポーツスター缶コーヒーミーティング

缶コーヒーを片手に情報交換やお互いのバイクについて語り合う場として、平成17年5月に設立した「九州スポーツスター缶コーヒーミーティング」代表の宮川幸二さん（大津町）が、久木野庁舎を訪れグッズ販売などの収益金の一部を村に寄付されました。

「九州スポーツスター缶コーヒーミーティング」は設立から10周年の節目を迎え、最後の記念大会を5月25日、あそ望の郷くぎりで開催。当日は晴天にも恵まれ、236台のバイクが集まりました。4年前にも同じように村に対して寄付を行った代表の宮川さんは、寄付金について「子どもたちの交通安全のために使ってほしい」と話されました。



最後の記念大会に参加した皆さん

5/30 新緑の中でナイスショット 第17回南阿蘇村村おこしゴルフ大会

「第17回南阿蘇村村おこしゴルフ大会」が阿蘇東急ゴルフクラブで開催され、絶好のゴルフ日和の中、遠くは鹿児島など県内外から194人のゴルファーが集まり、腕前を披露しました。

この日は、プレーの合間に、両併二出身でプロゴルファーの大津くるみさんのワンポイントレッスンも行われ、クラブハウス内のフロント前では、地元野菜や手づくりまんじゅう、たかな漬けなどが販売されました。

プレー終了後には賞品として、村の特産品や、温泉施設の宿泊券などが贈られました。



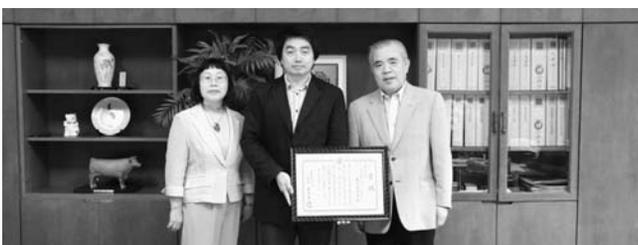
大津さんにアドバイスを受ける参加者

5/26 熊本県芸術文化祭奨励賞を受賞 南阿蘇村・谷人たちの美術館

5月26日に行われた熊本県文化協会の総会において、「南阿蘇村・谷人たちの美術館」が熊本県芸術文化祭奨励賞を受賞。その報告のため6月2日、久木野庁舎の長野村長を訪れました。

この賞は、第55回熊本県芸術文化祭参加事業（県内一円で繰り広げられた多彩な催し）262団体の中から、斬新で芸術的価値が高く評価された3団体に贈られたもの。「地域の工芸家を中心に村を挙げて発信力のあるユニークで質の高い展覧会を開催された」と評価されました。

代表の中尾和弘さん（第八駐在）は「これも立ち上げ当初からご尽力いただいた方々のおかげです。今年でちょうど10周年という節目の年でもあり、幸先よい受賞となりました」と話されました。



南阿蘇村・谷人たちの美術館実行委員のお二人と長野村長

5/31 チーム一丸で優勝 白水中学校バレーボール部

熊本県中学選抜バレーボール選手権大会阿蘇郡市予選会が白水中学校体育館で行われ、5チーム参加した中で白水中学校バレーボール部が見事優勝し、県大会出場の切符を手に入れました。

全3試合を戦い、準決勝で阿蘇中に2対1、決勝では、一の宮中に2対0で勝利しました。

主将の高宮帆夏さんは、「今回の大会では、たくさんの方々の応援のおかげで、優勝することができました。県大会では、阿蘇郡市の代表として12人全員で優勝目指して頑張ります」と意気込みを話してくれました。

この後、県大会が6月14日と15日に八代市総合体育館で行われました。



県大会出場を勝ち取った白水中学校バレーボール部の皆さん

6/7 ゴールを目指して 第24回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会

第24回を迎えた阿蘇カルデラスーパーマラソン大会が6月7日開催され、ランナーたちが初夏の阿蘇を駆け抜けました。

100kmの部(参加者1,176人)と50kmの部(参加者654人)が行われ、100kmの部では、午前5時に村総合温泉センター「ウイナス」をスタート。ランナーたちは、ゴールの阿蘇市総合センターを目指し走り始めました。

久木野庁舎前の10kmエイドステーションでは、「有限会社くぎのむら」からそうめん(650杯)が振る舞われ、足を止めて味わうランナーの姿も見られました。



一斉にスタートを切るランナーたち(100kmの部)

6/4 工事の無事を願って ハイコムウォーター(株)地鎮祭

村の誘致企業であるハイコムウォーター株式会社南阿蘇工場の地鎮祭が荒牧俊一村会議長のほか、多数の関係者立会いのもと第九駐在区の工場建設予定地で行われました。

式では、同社の甲斐達也代表取締役が、「南阿蘇のきれいな水、特産物の利用を図り、村の発展に貢献していきたい。工場完成後は、本社を熊本市から南阿蘇村へ移転し、恩返しをしたい」と挨拶されました。

同社は今後、本年11月の稼動と地域に密着した工場を目指します。



ハイコムウォーター(株)南阿蘇工場の建設予定地

6/13 くまモンと一緒に子ども教室 久木野小学校放課後子ども教室

放課後子ども教室が6月13日に久木野小学校(東光洋校長)で開かれ、1年生から3年生の児童42人が参加しました。この日は、九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科の3年生6人がボランティアで訪れ、子どもたちと一緒に万華鏡作りや、学習支援をしました。

J A職員のお2人が講師として迎えられ、児童は大学生に手伝ってもらいながら出来上がった万華鏡をのぞく姿が見られました。

また、サプライズでくまモンが登場。児童たちは、くまモンに興奮し、握手をしたり、抱きついたりしていました。



万華鏡をのぞくくまモンを見つめる児童たち

6/9 災害に備えて 平成26年度防災会議・水防協議会

6月9日、久木野庁舎集会ホールで、「平成26年度防災会議・水防協議会」が行われ、陸上自衛隊第42普通科連隊など関係機関から81人が出席しました。

会議では、熊本気象台職員から本年度の気象の見通しや、村担当者から防災計画の主な改正点などについて説明がありました。

主な改正点として、「災害の危険から逃れるための避難所となる指定緊急避難場所の指定」、「避難行動要支援者名簿の作成・活用」、「避難支援などの助言を国や県に求めることができる」ことなどを報告しました。



村担当者から防災計画について説明を受ける出席者